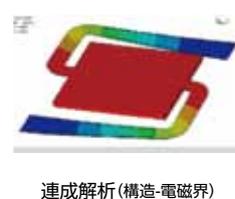
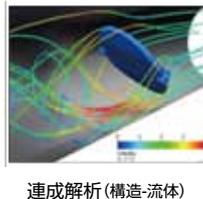
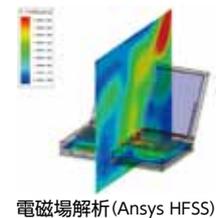
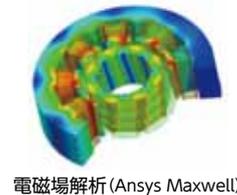
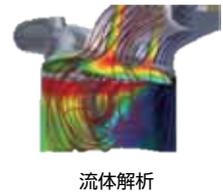
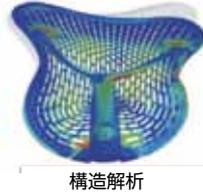
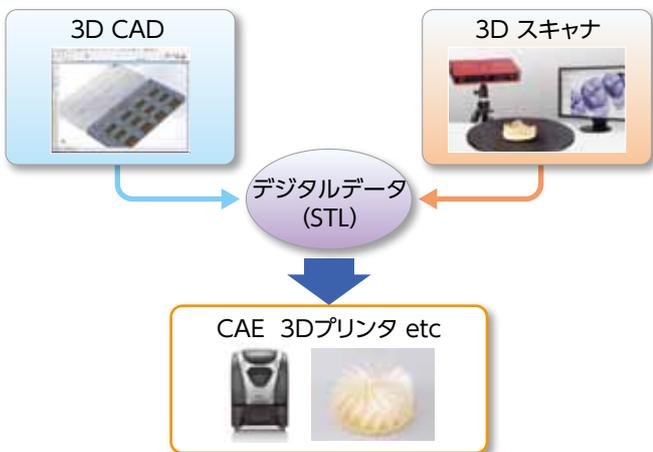


# 中丹技術支援室「高速開発支援センター」で 設計・開発から試作までを支援します

今春、中丹技術支援室は北部産業創造センター内にリニューアルオープンしました。その中核となるのが「高速開発支援センター」です。中丹技術支援室ではこれまで品質管理や不具合調査等「評価型の支援」が中心でしたが、設計や開発等「上流型の支援」にも対応しようと導入したもので、これからは「設計・開発から試作までのものづくり支援」を行います。中丹地域はもちろん府内の多くの企業の皆様に幅広くご利用いただける高速開発支援センターの3つの機能を紹介します。

## 機能1 設計・開発から試作までのものづくり支援 ～デジタルマニュファクチャリング機能～

3次元スキャナ(リバースエンジニアリング・検査)、CAEシステム(シミュレーション)、3次元CAD(モデリング)、3Dプリンタ(試作)の設備をそろえており、これまで長時間を要した設計から試作までの様々なプロセスを一連で行えるようになります。



## 機能3 人材育成を行うための研修エリア ～3D設計セミナールーム機能～

高速開発支援センターは、技術習得のための「研修エリア」の役割も担っています。最大10名の方が、3次元CADやCAEを同時に実習できます。設計・開発から品質検査まで、最新技術の習得やスキルアップ等の人材育成を、研修や講習会、研究会などを通して支援します。



## 機能2 ネットワーク型CAE ～VDIシミュレーションシステム機能～

高速開発支援センターは、操作性の高い設計者向けのソフトから高度で様々な物理現象の解析まで対応できる機能を持ったソフトをそろえており、構造・流体・電磁場及び連成解析などの様々なシミュレーションを行うことができます。

また、センターのCAEサーバは、デジタル疎水ネットワークを利用することで京都市内の本所から遠隔での操作(VDI)が可能となっており、中丹地域だけでなく、府内の多くの企業にご利用いただけます。例えば、従来から利用されている本所の装置で物性値を測定し、それを本所のクライアントからCAEソフトに入力して、その場で解析を行うことができます。



- ①3次元スキャナ : Gom社 Atos core 45, 200, 500 500万画素(5M) ブルーLED  
測定範囲 : 45×30mm, 200×150mm, 500×380mm  
リバース用ソフト : Geomagics DesignX  
検査ソフト : Gom Inspect Professional  
動的解析ソフト ARAMIS Professional Live
- ②3次元CAD : Solidworks(ソリッドモデル) Rhinoceros(サーフェスモデル)
- ③3Dプリンタ : キーエンス社 AGILISTA-3200  
造形サイズ 297×210×200mm 積層ピッチ20μm  
材質 : 透明樹脂、シリコンゴムetc
- ④CAEソフト : Ansys AIM, Ansys Mechanical Enterprise, Ansys CFD Enterprise, Ansys Maxwell3D, Ansys HFSS, ADINA他

※各機能は2,500円/1時間でご利用可能です。